

## 会 議 録

会 議 名	平成30年度 山陽小野田市男女共同参画審議会（第3回）	
開催日時	平成31年3月6日（水） 14時～15時	
開催場所	山陽小野田市役所3階小会議室	
出席者	池田 容子、野口 嘉一、棟久 佳子、栞原 奈苗、篠原 明子、有田 光枝、大本 章男、末山 泰彦、岡部 つや子	委員数 12名 出席者数 9名
欠席者	松原 秀樹、山本 シゲ子、大田 雄基	
事務局等	市民部次長兼市民生活課長 藤山 雅之、 市民生活課長補佐 山本 満康、市民生活課長補佐 亀崎 芳江 市民生活課主任 岡野 文恵	
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 「第3次さんようおのだ男女共同参画プラン（案）」に対するパブリックコメントの結果について (2) 「第3次さんようおのだ男女共同参画プラン（案）」の答申について (3) 「女性の日」について (4) その他 3 閉会	
会議内容	1 開会 2 議題 (1) 「第3次さんようおのだ男女共同参画プラン（案）」に対するパブリックコメントの結果について 事務局より、パブリックコメントは0件、ほぼ完成形のプラン冊子と概要版を作成したことを報告し、意見を聞いた。 委員：概要版8ページの基本目標Ⅲ、男女が健康で安心安全に暮らせる社会づくりとあり、5年間に配偶者等から暴力等受けたことがある人の割合が結構いらっしゃるのだと感じる。全国的平均とか山陽小野田の割合というのはどうか。 事務局：申し訳ないが分からない。 委員：学校で男子生徒・女子生徒が一緒の部屋で着替えたり体操したりするというような事例があると読んだことがあるが、山陽小野田市ではそういうことはあるのか。 委員：着替えは基本的には山陽小野田市では別々でやっている。ただ、生徒	

たちは下に既に体操服を着ていて脱げばもう体育ができる状態にして来ている子もいるので、そういう子はもう平気で脱いでいるが、着替えないといけない時はきちんと分けて着替えさせている。体育の授業は、中学校では男女同じ授業で受けさせる所が多い。かつてはクラスで分けて、一組、二組とあれば一・二組の男子、一・二組の女子と男女分かれて指導があったが、今は一緒に学習している学校が増えている。

家庭科も昔は女子だけが受けていたが、今は、女子も男子も同じように技術も家庭科もやっている。

(2) 「第3次さんようおのだ男女共同参画プラン(案)」の答申について

委員：基本目標Ⅲのところ、「ひとり親」と「一人暮らし」でひらがなと漢字で使い分けてあるのはよいか。また最初の文書の所で「次の通り」は「下記のとおり」がよい。

委員：目標Ⅰの男女が共に活躍できる社会づくりについて、これは主に行政主導の部分が多いので「要望します」を「強く要望します」としてほしい。

委員：私たちが強く要望している事なので「強く」と入れたいと思う。

事務局：先ほどの「ひとり」について担当課に確認して合わせた方がよければ合わせ、このままでよければそのままとする。

委員：基本目標のⅢも「整備に努めてください」を「整備に積極的に努めてください」がよいと思う。

委員：是非という強い思いが皆さんあるから入れてよいと思う。

委員長： それでは「次の通り」を「下記のとおり」へ、基本目標Ⅰ、4行目「強く要望します」と変更し、基本目標Ⅲ、1行目にある「ひとり親家庭」は行政の言葉で使う言葉だそうなのでこのままで、一人暮らしの「一人」に関しては担当課に確認したうえで考えるという事でよいか。それから一番最後の行を「支援や体制の整備に積極的に努めてください」へ変更し答申としてよいか。

～異議なし～

事務局：「一人」については、プラン中にもあるので、調べて修正が必要な場合はお任せいただければと思う。

(3) 「女性の日」について

市議会や審議会からの指摘等意見を参考に再度検討し、別紙2のとおり見直し案を事務局より説明した。また、〇〇の日を設けること自体については、今後も男女共同参画を推進していく市の姿勢を忘れないようにするためにも継続すること、及び「女性の日」を変更する場合、プランの具体的取組にある「『女性の日』の普及啓発」については削除、修正すると説明した。

委員：変更する理由で「この10年の取組により、一定の役割を終えたと考える」と表現されているが、役割はまだ終わってない気がする。役割が終わっていないから継続していかないといけないと思う。現状女性の日が男女共同参画のためにあると知っている人が少ない。認知度が低い。私は無くした方がいいとこの前は思ったが、まだまだ続けていかないといけないとも思った。もっとPRすべきだ。

委員：3月8日、イタリアでは、ミモザを男性から女性に感謝を込めて渡すというような習わしがある。世界には女性の日というのはある。10年前は裏方に感謝しつつと文言が入っていて、それから始まった女性の日で今継続しているのは講演会。

委員長：女性の日は知名度が低かった。そして役割が果たせてない。周知啓蒙活動を促進し、新たに取組を強化していくというような形で継続していくということによいか。

事務局：おっしゃるとおり周知、市内に浸透していないのは否めない。周知しないといけない。即効性のあるものは無いが、少しでも前に進むよう取り組みたいと思うので、毎年意見を頂ければと思う。

委員：今までの周知の方法も見直していかなければいけないと思う。

～新しい目的について特に意見無し。

～名称について賛成の名称に挙手してもらう。

A案 女性の日 0名

B案 男女共同参画の日 5名

C案 女と男の日 4名

事務局：推された理由を聞きたい。

《B案》

委員：女と男もいいが、男女共同参画をもう少し皆さんに知ってもらわなければ事が進んでいかない。男女共同参画の日という名前を付けて皆さんにもうちよつと強く知ってもらったらいと思う。

委員：BかCか悩んだが、女と男は、男の人を最初に持つていくか後に持つていくかなど出てくると思う。男女共同参画の日をまず最初に皆さんが知るべき。

委員：一行詩の中に女と男があり、重なるから男女共同参画の日の方が分かり易い。

委員：女と男の一行詩の女と男はどちらかというサブタイトルだと思う。やはり根本は男女共同参画の運動を進めていくべき。女（ひと）と男（ひと）は、書かないと意味が分からない。男女共同参画は少し難しい言葉で馴染みがない人もいたので、やはり男女共同参画という言葉をも表面に出して皆さんに知っていただく事が第一だと思う。

委員：女と男の日は柔らかい響きだが、男女共同参画の日となると積極的に行動しなければいけないという印象がある。新しい目的から見ても男女共同参画の日の方が良いと思う。

《C案》

委員：今、女と男の一行詩にはたくさん応募があり、女と男の一行詩を通じてその上の男女共同参画を知ってもら方が早いのかなと思うし、先ほど言われたようにこれがあるから上の参画の日と設けた方が良いとも思う。どちらを取るかは両方目的は同じだと思うが、どちらが早く市民の方に知っていただけるのかと考えると、自分は女と男の方が早く知ってもらえると思う。小学生から大人、年齢の高い方まで詩を応募されてるから。

委員：中学生の子供がいるので中学校でプリントをもらってきて、子供から「女と男の一行詩」があると聞いて知る。男女共同参画と言うとすごく硬いイメージがあるので、子どもなどに馴染みが良いのはC案の方が柔らかい印象があって、そこから子どもと一緒に考えて一行詩を考えたりする取組もあると思う。確かに男女共同参画と書いて、言葉を知ってもらうのももちろん必要だとは思いますが、馴染みややすさ、みんなに分かり易い言葉でとなるとこちらの方が柔らかくって良いのかなと思う。

委員：女と男の一行詩は全国から募集しているが、市内の応募者が少ない。私は県の男女共同参画の委員になった時にはカリエンテにこの冊子を毎年置かせてもらうようお願いし、県内の人にも読んでもらえるようにしている。「女と男」って言葉をどんどん使って山陽小野田市の言葉としてアピールできたらと思う。

委員：大人だけではなく、小さなお子さんも含めてと考えると男女共同参画の日と言うのはちょっと硬過ぎて尻込みをしてしまうかと思う。より広い年齢層をターゲットとすると「女と男の日」の方が柔らかくて受け入れ易いと思う。「女と男の日」とネーミングしてもやっていく事は男女共同参画。これを推進していくわけなので、悪くないかと思う。あえて「女と男」と書いてふりがなをふって、男女区別なく皆スマイル溢れる社会をイメージできる、C案の方が優しい響きだしいいのではないかと思う。

事務局：ご意見をまとめて決めさせていただきます。

4 その他

事務局：一行詩の募集のお願いと来年度の審議会（5月頃に1回目、必要に応じてその後第2回を予定）の日程報告